



第7回 子ども版「もったいない市」開催報告

2020年2月2日(日)9:30~11:30

入場者数 249名 (大人:140名、子ども:109名)

子ども服やおもちゃ・絵本などの交換する市を開催しました。イベントには、浜松市立東部中学校社会貢献部と浜松市市民協働センター「ボラクエ」高校生、子育てサークルどろんこのメンバーが参加。県東部 三島市の市民によるイベント視察も行われました。イベントの様子は、浜松ケーブルテレビ2/5(水)午前10時「ウィンディニュース さんちやく!」で放送予定です。お帰りの参加者からは「楽しかった!」「また来たい!!」との声がありました。

実績 持込み量 約152.19kg 持帰り 129.89kg リユース(再使用)率は、約85%



【小学生の声】

・物を大切にすることを学べてよかった。

【中学生の声】

・子ども服の展示を工夫したり、上下を組み合わせて展示をすることで商品が持帰っていただけました。

・140・150サイズは、商品が少なかった。ショップの人の気持ちが分かった。

【高校生の声】

・この活動を通してごみが減るということは、環境に良いし、要らなくなった物を他の必要な人がもらえるのは、お互いに環境保全に貢献できている。このような機会をこれからも利用していきたいと思いました。

・リユースの活動を知らなかったなので、周りの人に広めていけたらなと思います。また、物を買う時に無駄がでないよう意識したいと思いました。

・新生児の服は供給のわりに需要がない。これからは、新しい物を買う時には、その場限りではなく今後も使うことがあるか考えて買うようにしたい。

・本のコーナーを担当しました。本を対象年ごとに並べ、年齢にあった本をすすめることが思っている以上に持ち帰りがありました。

【市民の声】

・再利用が難しいものは買わない。また、使い続けるものを買うようにすることが大切だと感じた。



スタッフ総勢 48名